

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターキッズ千葉		
○保護者評価実施期間	2025年1月24日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2025年1月24日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童と保護者の支援	保護者の方が日々の記録を確認出来るよう配慮し、児童がどのように過ごし活動へ取り組んでいるか、今の課題とその為にな何をやるべきかの詳細が共有できるよう工夫しています。 また申し送りの際に、日々変化する児童の様子を共有し各ご家庭と同じ目標を持って支援を行えるよう工夫しています。	申し送りや日々の記録では、時間や内容が限られてしまうことから、必要に応じて相談の場を提案し、設けることで更に同じ目標を持って支援をするよう努めています。 また、園や相談支援事業所などの関係機関と積極的に連携し、児童や各ご家庭の環境面や精神面に寄り添った支援を継続していきます。
2	指導員の専門性	保育士を始め、理学療法士や言語聴覚士がプログラムを立案し、児童の発達状況や支援すべき領域を考慮して評価し計画を立案した後には支援を実施しています。また、保護者の方の困り感からエビデンスをもとにした支援を実施している為、児童の先を見据えた療育の提供に努めています。	各指導員の専門的な技術を向上するために、外部の研修会や会社内での研修へ積極的に参加し、児童のニーズに合った支援に繋げていきます。 また、現段階での目標や支援すべき項目を他職種間で共有し連携していく中でより質の高い療育の提供へと繋げていきます。
3	活動プログラムの柔軟さ	入室から退室までの一連の流れは基本としてあり、児童の様子や、利用児童の目標や能力を考慮して、活動のプログラムや時間の配分を設定し支援を実施しています。 また、運動療育と静かな活動を取り入れており、児童にとっても活動へ取り組みやすいよう、身体を大いに動かす卓上の活動へ集中して楽しく取り組めるように工夫しています。	室内の活動だけでなく、戸外活動(お出かけ療育)を実施し、交通ルールや地域交流を行っていきます。 また、戸外にて必要な日常生活動作や他者との関わりを学び、児童が地域の中で楽しく自立して生活が送れるような土台作りへと繋げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベント開催と実績	令和6年4月に開所しており、児童の利用状況や地域資源のリーチ不足から年間行事は4回の実績となっています。	次年度では季節や行事に沿った企画を計画していきます。また、児童だけでなく各ご家庭を交えた療育やより地域資源を活用した地域交流の場を検討していきます。
2	家族支援プログラムの共有	SNSやモニタリングにて自宅で行える支援の共有を行っているが、実際にどのように家庭で行われているかどうかの把握ができていない。	保護者会や定期的に療育の見学会を検討し、家庭でも目標に沿って支援を行えるように工夫していきます。また、定期的に家庭での支援プログラムの経過を確認できるように聴き取りを行っていきます。
3	避難訓練の実施前後の共有	避難訓練は年2回実施しており、SNSや記録にてお知らせをしているが、直接保護者の方へ詳細を伝えきれていない。	保護者の方の理解を得ながら引き渡し訓練の実施を検討していきます。災害時を想定した細かな訓練を行い、保護者の方との連携に努めていきます。